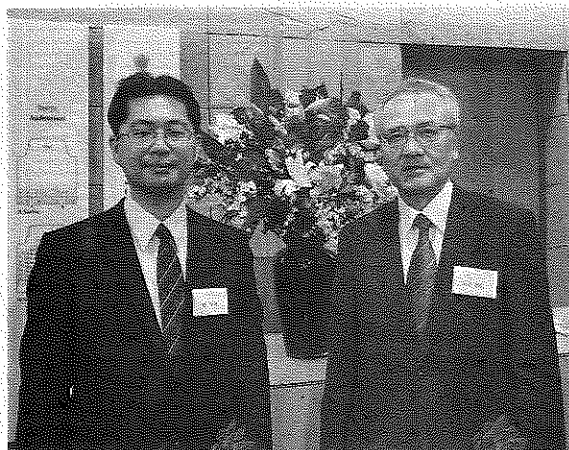


中村元東方学術賞授賞式

新ニヤヤ研究に功績

和田壽弘名大教授に贈呈

奨励賞は中国仏教研究の柳氏に



中村元東方学術賞を受賞した和田氏(右)と、奨励賞受賞者の柳氏(インド大使館)

(公財)中村元東方研究所(前田専理理事長)は10日、東京・九段のインド大使館でスジャン・R・チノイ駐日大使臨席

のもと、第26回中村元東方学術賞授賞式を挙行した。インド哲学の一つである新ニヤヤ学派研究に功績のあった和田壽弘

氏(名古屋大学大学院教授)に贈られた。第2回中村元東方学術奨励賞は、花園大学専任講師の柳幹康氏に授与された。当日は体調不良により前田理事長が欠席のため、奈良康明理事が挨拶を代読。その中で同賞について「日本の私立の研究所によってその業績が高く評価されたばかりでなく、インド国家を代表するインド大使館という公的機関によって公認されたもの」とその価値を明確にした。

統の一つである新ニヤヤ学派に関する研究が高く評価されての受賞となった。新ニヤヤ学派はニヤヤ哲学の論理スクール、言語スクールをさらに厳密で正確なものへと発展させた」と評価。そして「(14世紀の)カングーシャの『タットヴァ・チンターマニ』などのサンスクリット原典を徹底的に研究された。また革新的な図表の使い方をされた点は、和田先生の目覚ましい功績の一つ」と祝福した。

奈良氏から和文賞状、大使から英文賞状を受け取った和田氏は「中村元先生の名を冠したこの賞をいただけるというのは大変な名誉であり、嬉しく思っている」と謝辞。さらに2014年、講義のためインドの大学に招かれた際、急に日本とインドの文化交流史について話して欲しいと依頼された時のエピソードを紹介。たまたま一週間前に中村先生の選集にある『東西文化の交流』を見ていた。それが頭に残っていたので知ったかぶりをして話しました。中村先生の本を読んでいて良

かったなと思いましたが」と打ち明けた。奨励賞を受賞した柳氏は「永明延寿と『宗鏡録』の研究(法藏館)が選考対象となり、10世紀の中国の禅僧永明延寿の思想を明らかにしたこと

が評価された。柳氏は謝辞を述べると共に「延寿の研究は日本ではあまりなされていなかったが、中国を中心に韓国や米国では盛んに研究されている」とし、延寿の思想が近世中国仏教に影響を与

え、それは韓国や日本にも及んでいると述べた。【お詫び】9月29日付けの受賞者決定記事で理事長名を間違っていました。正しくは「前田専理理事長」です。お詫び致します。